

■ 本部事務所 TEL (082)831-5011
FAX (082)831-5013

Eメール: asami@shakyo-hiroshima-city.or.jp
URL: https://shakyo-hiroshima.jp/asaminami/index.php

新会長あいさつ

この度、社会福祉法人広島市安佐南区社会福祉協議会の会長に就任いたしました上田昭人です。

大変長きに渡り会長を務められた寺尾一秀前会長の後任という大役を仰せつかりまして、その職責の重さに、身の引き締まる思いでございます。

さて、現在、新型コロナウイルスが蔓延し、社会全体が先行きの見えない閉塞感に覆われておりますが、その中でも人と人とのつながりの大切さに改めて気づかされました。引き続き、安佐南区社会

福祉協議会として「ふれあい・たすけあい・ささえあい」をすすめて参りたいと思います。

今後ともみなさまのご支援ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会
会長 上田 昭人



学区社会福祉協議会の取組み紹介

川内学区 住み慣れた町で楽しく安心して暮らしていけるように

太田川と古川(旧太田川本流)の間にある川内学区は、古くから広島菜の栽培で有名で、また子育て世帯の多い町です。今回、川内学区の社会福祉協議会(以下、社協)の常重会長と、岡本地域福祉推進委員に川内学区の取組についてお話を伺いました。

○川内のことをもっと知ってもらいたい

この度、学区社協や町内会のことを知ってもらうために、冊子「かわうち知って得する身近な「まち」のボランティア」を作成しました。川内地区は約6000世帯のうち、町内会加入率は約50%で、この冊子で川内のことをもっと知ってもらい、町内会に加入するきっかけになってほしい気持ちも込められています。今年は新型コロナウイルスの影響で中止になりましたが、盆踊り等の地域行事や、百歳体操のサロン等、身近に役立つ情報が紹介されています。



常重会長(左)と岡本地域福祉推進委員(右)

○地域の活動が途切れないように

現在、学区社協拠点のある川内集会所は、令和3年7月から約6カ月間、耐震工事のため利用できません。

その間は集会所で行っていた百歳体操の一部は、活動が途切れないように近所のお寺で実施されています。

また、母子会の活動を通じて、子どもたちが気軽に立ち寄れる場を作ろうと、3年前に学区社協、母子会、民生委員、包括支援センターの連携により、子ども食堂「川内にこここ食堂」を立ち上げられました。コロナ禍前は、毎月第4木曜日の午後、小学生を中心に和気あいあいと食事を楽しむ、集いの場として開催していましたが、現在、新型コロナウイルスの影響で集まることができないため、持ち帰りができるお弁当や、物資等の配布を継続されています。

岡本推進委員は「多くの方と顔なじみになって、声をかけてもらえることが嬉しい」と、コミュニケーションの大切さを語られました。また、常重会長は「災害が多い状況の中でより地域の繋がりを深めていくため、運動会と防災訓練を兼ねた行事を行ってみたい」と今後の展開を話されました。



こここ食堂の看板とシール

安西学区 知らない人から知ってる人へ顔見知りを目指したまちづくり

安西学区は安佐南区の中間に位置し安川を挟み東西に走るアストラムライン沿いの住宅商業地区と北側の荒谷山と南側の住宅団地で形成されています。何を取り組むにしても自治会町内会関係団体との連携を大切にされている学区社協です。



学区社協へ相談があった際に心がけていることを教えてください。

専門的な相談があれば包括支援センターや区社協、行政へ繋いでいます。

私達は相談ごとを解決しようと思うのではなく傾聴し受け止めることを大切にしています。

実際に「聞いてもらって安心したよ」「来るのが待ち遠しかったよ」といった声を頂き元気をもらっています。

コロナ禍で大変な時だからこそこれからも「おたがいさま」の気持ちを大切に活動していきたいです。



どうされました??



コロナはいつ収まるんじやろ...



福祉のまちづくりプラン21を作成されましたね。プランの実現に向けて安西の「なったらいいな」を教えてください。

令和2年度に「住んでる人が住んでるまちを幸せなまちに」をテーマとして福祉のまちづくりプラン 21 を作成しました。

自治会町内会各団体との「つながり」を大切にしながら一人暮らし高齢者、災害発生時の要支援者対策など地道に継続して福祉のまちづくりを行っていききたいと思います。

まちづくりの基本は、知らない人から知ってる人へ、住民一人一人が顔見知りの関係になることではないかと思います。

今はコロナで家庭に閉じこもりがちですが、地域の交流サロン、体操、趣味の会などに参加し多くの顔見知りの方を作ってゆきましょう。

安西学区社協事務所は安西集会所です。困りごと相談窓口も開設しています。月・火・木・金の9:00~12:00です。



安西学区社協 柿原会長



錦織スタッフ

取材に訪れた日も住民の方が事務所へ相談に来られていました。気軽に親しみやすい雰囲気を作られ、いつも笑顔のある安西学区社協さんの取り組みをこれからも応援させていただきます。

※写真の撮影時のみマスクを外しております。

左奥:天野事務局長 右奥:東スタッフ
左手前:錦織スタッフ 右手前:柿原会長



安佐南区 ボランティアセンター通信

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、今後、本誌掲載の催しなどが中止になる可能性があります。詳しくは申込み先にお問合せください。

福祉車両「うさぎ号」 運転ボランティア講座のご案内

安佐南区社会福祉協議会では公共交通機関や家族等の介助による移動が困難な車いす利用者（障がい者・高齢者）の方々に福祉車両「うさぎ号」の貸出を行っています。

どうしても運転者がいない場合は、運転ボランティアグループ「うさぎ会」に協力いただきながら、車両を運行しています。

福祉車両「うさぎ号」を知っていただき、一緒に「うさぎ号」利用者のみなさんと移動時間を過ごしてみませんか？

うさぎ号講座

日時	令和3年11月6日(土) 13:30～16:00
場所	安佐南区総合福祉センター 6階 大会議室1・2・3
対象	普通自動車運転できる方、運転ができなくても関心のある方
内容	車いす利用者の体験談、運転ボランティアうさぎ会の取り組み紹介等
参加費	無料
定員	15名
申込	当協議会へ電話、FAX、Email、QRコードにてお申込み下さい。 ※QRコードでお申込みの場合、お名前、住所、連絡先、講座名を入力ください。



運転ボランティア うさぎ会の活動紹介

- 運転ボランティアうさぎ会はうさぎ号の運転ボランティアと外出先での移動支援を主な活動としています。
- 日常的に車いす利用者をサポートしていることから学校や地域での車いす体験学習「やさしさ発見プログラム」への協力を通して、車いす利用者のさらなる理解に努めています。
- 入会は随時募集しております。一緒に活動しませんか？



うさぎ会HP

令和3年8月11日 大雨災害により 被災された方への支援について

このたび、大雨による被害にあわれた皆様には心よりお見舞い申し上げます。
今回、令和3年8月11日からの大雨の影響により、被害の大きかった安佐南区及び西区では広島市社会福祉協議会を中心に災害ボランティアセンターを開設いたしました。現在、新型コロナウイルスの感染防止対策を講じながら、センターとして被災された世帯からの土砂撤去等の要望やボランティア活動として活動できる方との需給調整を行っています。令和3年8月末時点で、多くの要望は土砂撤去で、約7割は終了しました。
これからは、ちょっとしたお掃除等の活動を含め、引き続き一日も早く被災された方が日常生活に戻れるよう、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



災害義援金のご報告

令和2年度は右記のとおり安佐南区内の学区(地区)社会福祉協議会等から義援金の受付を行いました。
なお、「平成30年7月広島県豪雨災害義援金」は、引き続き、令和4年6月30日まで受け付けております。

令和3年3月31日現在		
	名 称	単位:円
1	平成30年7月広島県豪雨災害義援金 (～令和4年6月30日)	5,336
2	令和2年7月豪雨災害義援金 (～令和3年3月31日で終了)	1,285,440

赤い羽根共同募金のお礼

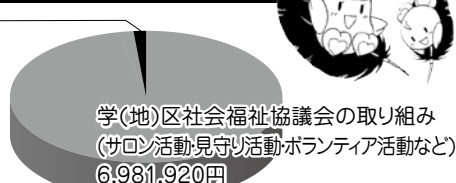
赤い羽根共同募金へのご協力ありがとうございました。

令和2年度に各学区(地区)共同募金委員会を通じてお寄せいただきました募金は、学区(地区)社会福祉協議会の活動や障がい者福祉活動に活用させていただきました。新型コロナウイルス感染症拡大で大変な状況にも関わらず、赤い羽根共同募金にご協力いただいた皆さま、活動にご尽力いただいた町内会、自治会の役員を始めとした多くの関係者の皆さまに深くお礼申し上げます。

また、大規模な災害が起こった際の災害ボランティア活動の支援等にも活用されています。今後とも、赤い羽根共同募金へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

令和2年度安佐南区社会福祉協議会における 赤い羽根共同募金の使い道

障がい者福祉活動
(リフト付き自動車)
178,057円



安佐南区社会福祉協議会 正会員会費募集

安佐南区社会福祉協議会では、学区(地区)社会福祉協議会を通して区民の皆さまより、令和2年度は、51,680世帯・計2,584,000円(一口50円)の会費をお寄せいただきました。

これらの会費は、安佐南区内の各学区(地区)の社会福祉協議会の活性化を目的とした助成制度や、心配ごと相談所として「弁護士相談」や「まちの保健室」の運営費用等の地域福祉の活動推進強化、福祉大会の運営等に活用しました。
皆さま方のご支援、ご協力に対しまして、厚くお礼申し上げます。

法人運営事業
(福祉大会の運営費用等)
252,978円

心配ごと相談所の運営費用
(「弁護士相談」等の運営費用)
103,600円

学区(地区)社会福祉協議会の活性化
(広報紙の発行や、地域課題解決のための助成金)
2,865,000円

佐東老人いこいの 家の耐震工事について

このたび、下記の日程にて建物耐震工事を実施することが決まりましたので、ご案内申し上げます。

なお、下記の期間中の施設利用はできませんので、ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

耐震工事日程

令和3年8月1日～
令和4年3月12日まで

寄附は地域を支える第一歩

寄附についてのご案内

皆様からの温かいご支援が、福祉の向上への大きな力になります。寄附はそのひとつの方法です。

☆このようなときに、寄附というのはどうでしょうか？

- 長寿や結婚、金婚式などのお祝いの記念として
- フリーマーケット・チャリティーバザーなどの収益金を
- グループの忘年会、会合などの会費の一部を
- 香典返しに代えて
- お店などの募金箱から

いただいたご寄附は、下記の事業に使わせていただきます。

☆主な寄附金の使途

- 地域福祉事業 ●障害児者福祉事業
- ひとり親福祉事業 ●ボランティア事業

まごころに感謝します

皆さまからあたたかいご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。お寄せいただいた善意は地域福祉のため、有効に活用させていただきます。

(令和3年3月11日～令和3年7月31日 一受付順一)

○一般寄附 広島友の会 安佐南方面 様

お気軽にご相談ください

無料です

安佐南区社会福祉協議会では、生活上のあらゆる困りごと、悩みごとについての相談をお受けしています。お気軽にご相談ください。

弁護士相談

毎月第3水曜日
13:00～15:00(要予約)

金銭トラブル、不動産、家庭問題、遺産相続など分かりにくい法律の疑問に弁護士がお答えします。

子育て・サークル相談

第4火曜日 10:00～14:00

先輩ママ「MaMaぼっけ」による子育ておしゃべりの場です。はじめての子育て、仲間づくりを応援しています。また、子育てサークルのことや子どものこと、ママ、パパたちの悩みなどの相談にのっています。ママ、パパの気分転換にどうぞ！

安佐南区くらしサポートセンター

様々な理由により生活に悩みや不安を感じている方の相談窓口です。
『長い間仕事から離れていて、なかなか仕事が見つからない』『家計のやりくりが難しい』『借金を抱えて生活が苦しい』などの相談をお受けしています。

所在地 広島市安佐南区中須1-38-13
安佐南区総合福祉センター5階
電話 082-831-1209
時間 8:30～17:15

電話や来所だけでなく、相談員による訪問相談も可能です。

掲載記事へのご意見・感想・お問い合わせ先

社会福祉法人 広島市安佐南区社会福祉協議会事務局 〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13
TEL 082-831-5011 FAX 082-831-5013 E-mail: asami@shakyohiroshima-city.or.jp